

室生寺門前および室生口大野駅周辺地区まちづくり基本計画

宇陀市

令和5年3月

(1) 計画策定の背景・目的

本地区は、本市北東部に位置しています。その歴史は古く、古代から火山性の地形から生まれた独特の景観により雨乞や病疫平癒の聖地として信仰を集め、江戸時代には、地域を通る2本の伊勢街道（伊勢本街道、伊勢表街道）の巡礼者が立ち寄る名所として大いに賑わいを見せました。世界的に有名な室生寺をはじめ数多くの史跡、国宝・重文級の文化財などが存在しており、多くの人が訪れています。

地域の農林業では、茶、木材や米の生産及び乳牛・肥育牛・採卵鶏の飼育等が行われています。

人口約4,500人の小さな地域ですが、若年層を中心とした都市部への流出超過等が影響し、人口減少と高齢化が進んでいます。世帯数の減少は比較的緩やかですが、核家族化、独居高齢者世帯の増加がみられます。

本地区は面積の80%を山林が占める林業地帯ですが、経営規模が小さいことから、近年の木材価格の低迷や林業労働者の高齢化・後継者不足により堅調とは言いがたい経営となっています。

今後は若年層の減少に対し、移住・定住の促進や雇用の場の確保、子育て支援をはじめとする少子化対策、高齢者の生きがいづくりなど、包括的な活性化に向けたまちづくりを進めていくことが望まれています。

地域の特性を活かしたまちづくりを図る地域拠点再整備について、奈良県と本市との間で包括的な連携と協力に関する「奈良県と宇陀市のまちづくりに関する包括協定」を平成27年12月に締結しました。これにより、まちづくり基本構想を策定し、平成29年4月に基本協定を締結しました。

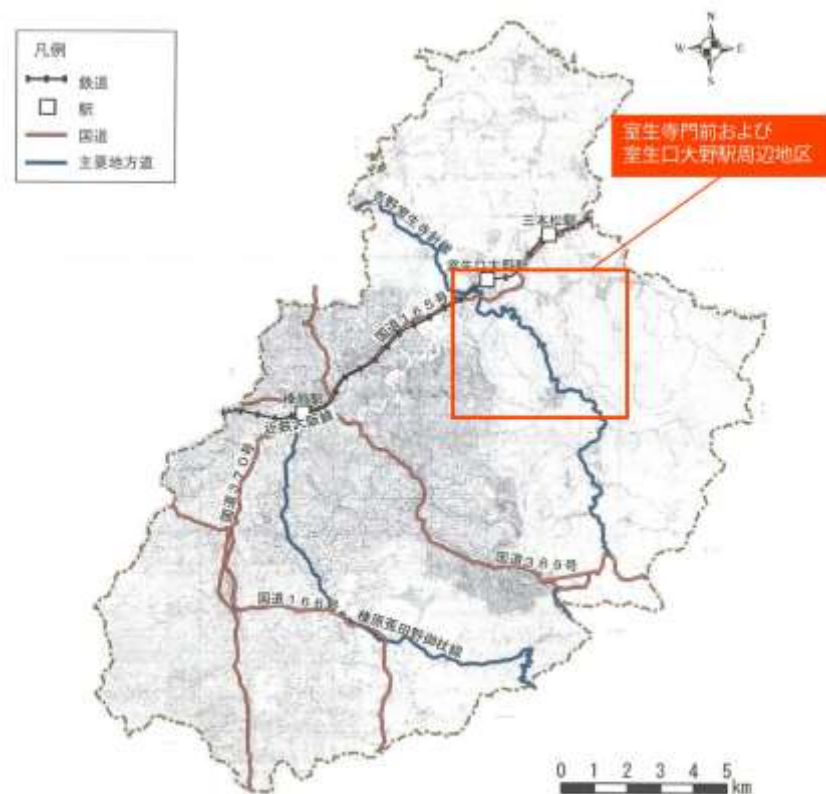


図 地区の位置

(2) まちづくり基本計画策定の目的

まちづくり基本計画は、基本構想で定めた「女人高野の郷 室生 おもてなしによる観光と交流のまちづくり」をコンセプトに、「室生寺の魅力発信と室生寺門前の魅力向上」と「室生口大野駅周辺における観光案内機能の向上」を図り、「観光客の増加」とともに「地元住民の生活の向上」を実現するための事業施策を定めたものです。

引き続き、検討が必要な事業施策等については、令和4年度に立ち上げた「公民連携まちづくりプラットフォーム」等での検討結果を踏まえ、具体化してまいります。

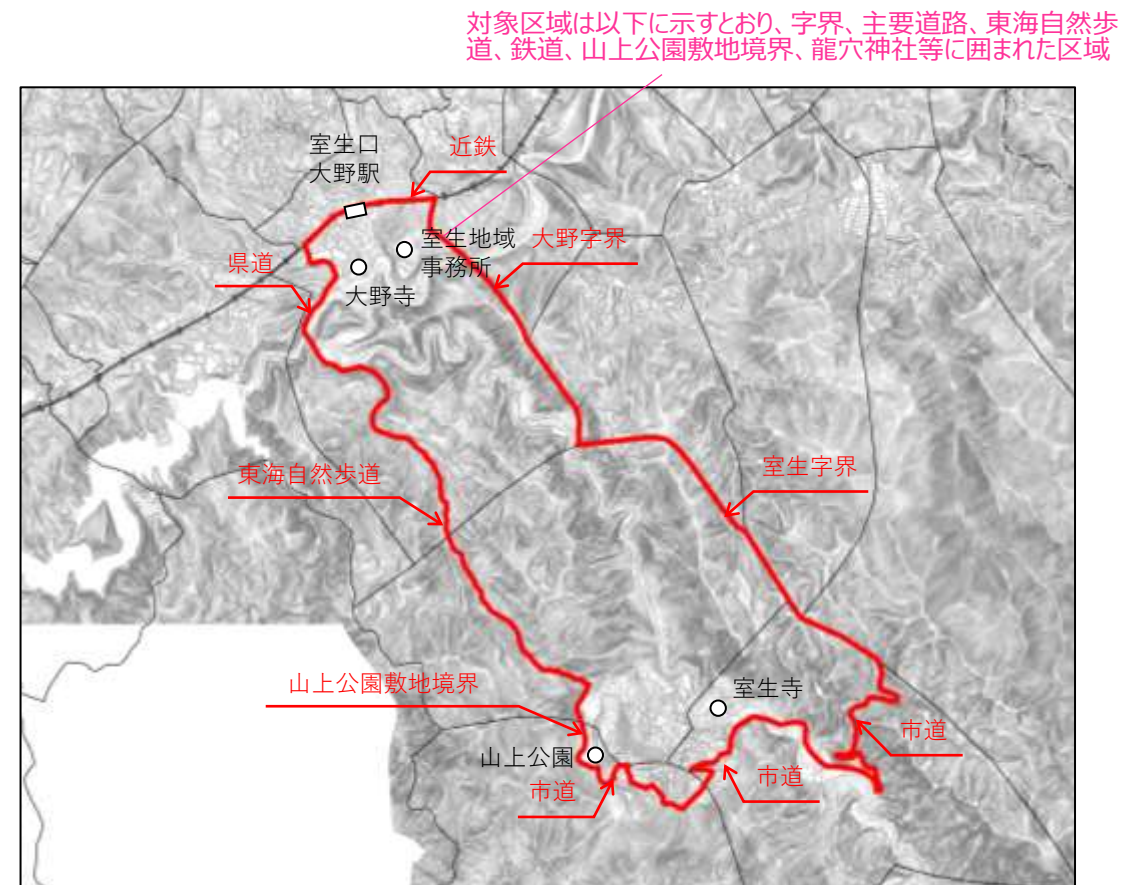


図 地区の区域

まちづくり基本計画策定の背景・目的

(3) まちづくり基本計画の位置づけ

本地区のまちづくり基本計画の位置づけおよび上位関連計画を踏まえた本地区の位置づけは、下記に示す通りです。

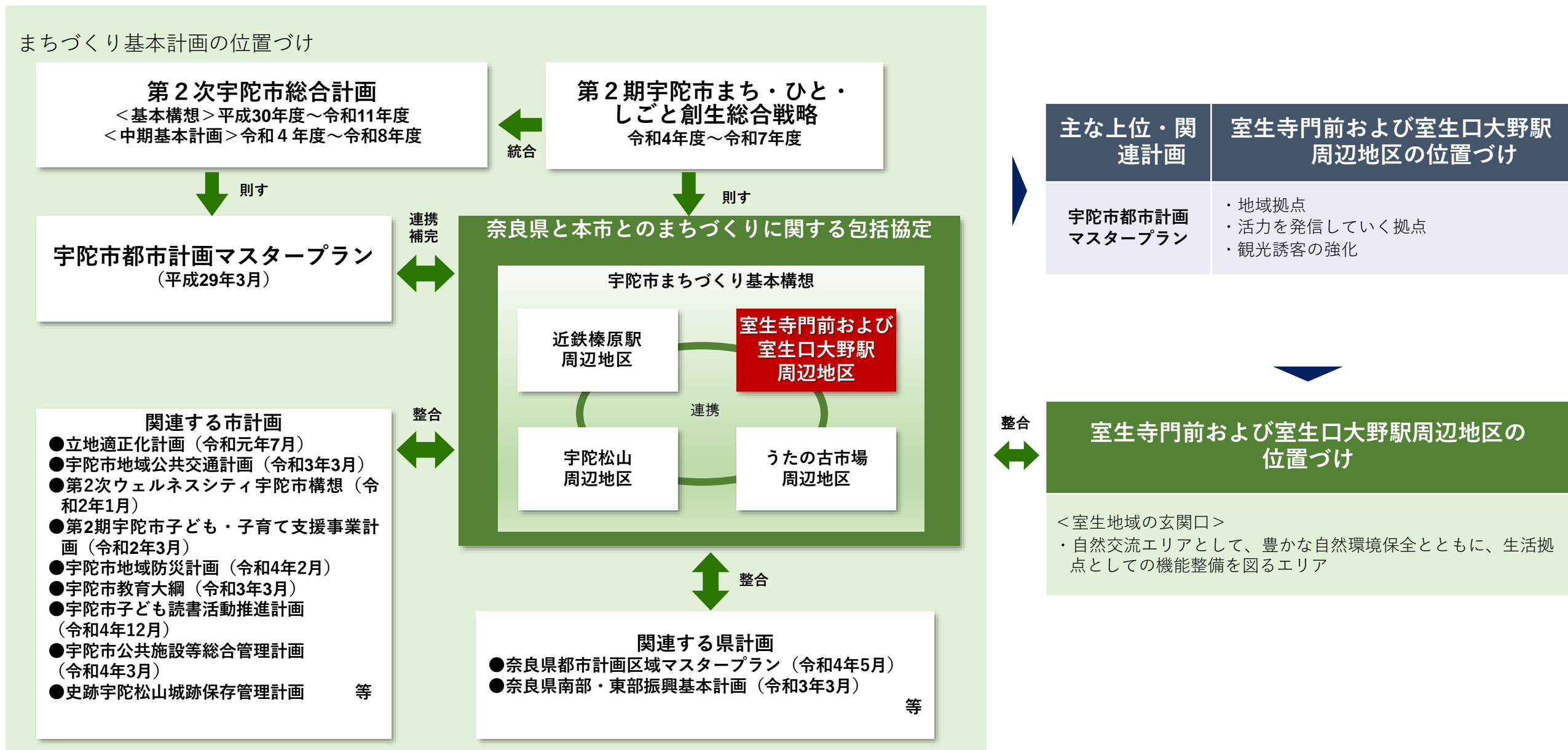
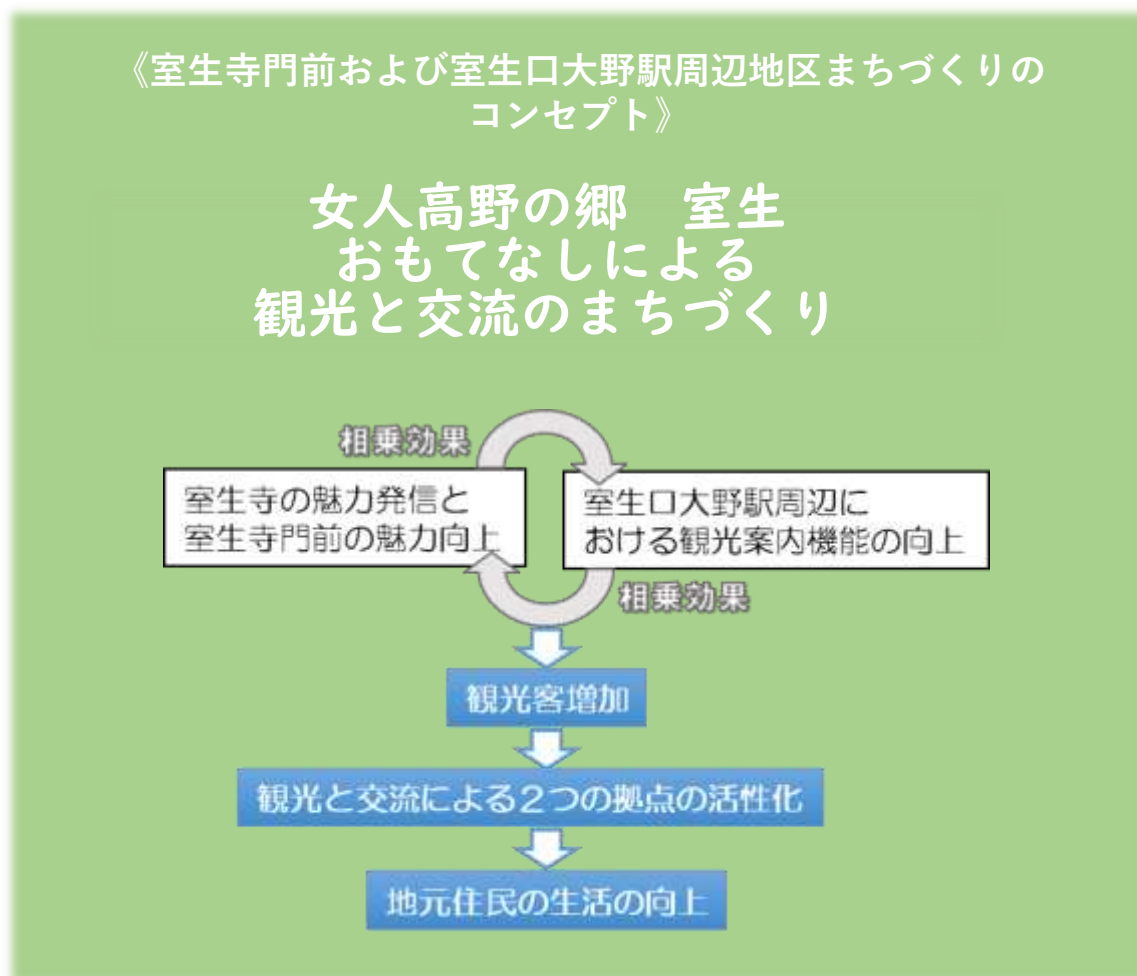


図1-3：まちづくり基本計画の位置づけ

(1) まちづくり基本構想のコンセプト



(2) 地区構造の概念図



図 室生寺門前及び室生口大野駅周辺地区の構造

《コンセプトの趣旨》

- ◆室生門前および室生口大野駅周辺地区のまちづくりは、地域の課題に応じた「室生寺の魅力発信と室生寺門前の魅力向上」、「室生口大野駅周辺における観光案内機能の向上」に資する多様な取組を相互に連携、調整しながら地元住民が主体となって展開します。
- ◆室生寺門前では特に女性をターゲットとした取組による商店街の魅力向上、室生口大野駅では公共交通での来訪を促進し、観光客の増加を促すとともに、互いの相乗効果により、観光と交流による2つの拠点の活性化を目指します。
- ◆そして、その効果は地元住民の生活の向上へ波及していくことをねらいとして、コンセプトを設定しました。

(3) まちづくりの基本方針

<取組むべき課題>

【観光面】

[観光者数]

- ◇室生寺及び山上公園では、閑散期における集客の底上げに向けた仕掛けが十分とはいえない
- ◇観光誘客に繋げるための広域かつ効果的な情報発信・PRが十分とはいえない（地区の魅力に対する積極的な情報発信・PRの不足）

[イベント]

- ◇集客の維持に向けたイベントの新たな企画や、継続的、または年間を通した開催が行えていない
- ◇集客力の向上のための、女性観光客をターゲットとした商品開発や仕掛けが十分とはいえない

[受入基盤]

- ◇来訪者の動線の偏り等に起因する、商店街の賑わいの低下

【交通面】

[来訪交通への案内]

- ◇広域アクセスルートからの来訪交通誘導のための案内が十分とはいえない

[路線バス]

- ◇バス利用者へのおもてなし機能（バス停の機能やフリー乗車区間の周知）が十分とはいえない

[室生寺ー山上公園のアクセス]

- ◇室生寺から山上公園への誘導をスムーズに行うための案内が十分とはいえない
- ◇室生寺～山上公園のアクセスを強化するための移動手段が徒歩や自家用車に限られる
- ◇室生寺から山上公園への来訪を誘発する仕組みが構築されていない

[2拠点間の状況]

- ◇トイレ、休憩スペースに関する案内が十分とはいえない
- ◇自転車による来訪者のための駐輪スペースが整備されていない
- ◇東海自然歩道の維持管理が十分とはいえない

【生活面】

[室生寺門前]

- ◇室生寺門前で高齢化の進展・人口減少に起因する空き家の増加に伴う、地区の活力衰退

[室生口大野駅周辺]

- ◇地域事務所の未利用空間、振興センターの利用者の低迷、室生理蔵文化財整理収蔵センターの有効活用等、公共施設が効果的に活用されていない。
- ◇室生口大野駅周辺での人口減少に起因する空き家増加に伴う、地区の活力衰退

[地域の玄関口]

- ◇駅前における来訪者の利便性が確保されていない
- ◇来訪者が室生らしさを感じる要素が充足していない
- ◇移動制約者への対応が十分とはいえない

<施策の方向性>

[観光の振興]

- 来訪者を呼び込むための地区の魅力の向上及び情報発信の強化
- 室生地区の観光中心地である門前の機能充実及び活力の向上

[交通の充実]

- 室生寺ー山上公園の移動を促す取組の強化
- 来訪者が快適に訪れる事ができる環境づくり
- 円滑な移動を支援する情報機能の強化

[生活の充実]

- 地区の活力を維持するための移住者受入環境の強化
- 既存ストックの有効活用による地元住民の交流機会の創出
- 室生らしさを体感できる来訪者と地元住民の交流環境の構築

<まちづくりの施策方針>

1. 観光ポテンシャルを活かした魅力向上

- 室生地区・室生口大野地区のブランディング
- 賑わいの創出
- おもてなし空間の整備

2. 公共交通を中心とした移動環境の向上

- 来訪者への案内強化
- 移動環境の充実

3. 観光との相乗効果による地区の活力向上

- 室生口大野駅のエントランス機能の向上
- 移住・定住の促進

基本方針・施策展開の方針

観光ポテンシャルを活かした魅力向上

- (1) 室生地区・室生口大野地区のブランディング
- (2) 賑わいの創出
- (3) おもてなし空間の整備

事業展開

公共交通を中心とした移動環境の向上

- (1) 来訪者への案内強化
- (2) 移動環境の向上

事業展開

観光との相乗効果による地区の活力向上

- (1) 室生口大野駅のエントランス機能の向上
- (2) 移住・定住の促進

事業展開

重点事業

基本方針の基幹となり、他の事業に多大な波及効果を及ぼす先導的かつ重要な事業

重点事業

- 空き店舗等利活用事業
- 室生の地形の成り立ち・防災を学ぶ拠点の再構築事業

重点事業

- 門前景観整備事業

重点事業

- 室生口大野駅前広場整備事業
- 移住促進事業

重点事業以外の事業

重点事業と連携するその他の事業

波及・連携

重点事業と関連性が強いハード・ソフト事業

ブランディング・賑わい創出に関する事業

- ・ 魅力発信・PR事業
- ・ 地元産品活用商品開発・販売促進事業
- ・ 室生山上公園芸術の森利用促進事業
- ・ 集客向上イベント事業
- ・ 周遊促進事業

おもてなし空間の整備に関する事業

- ・ 公共空間環境整備検討事業
- ・ 四季の里整備事業

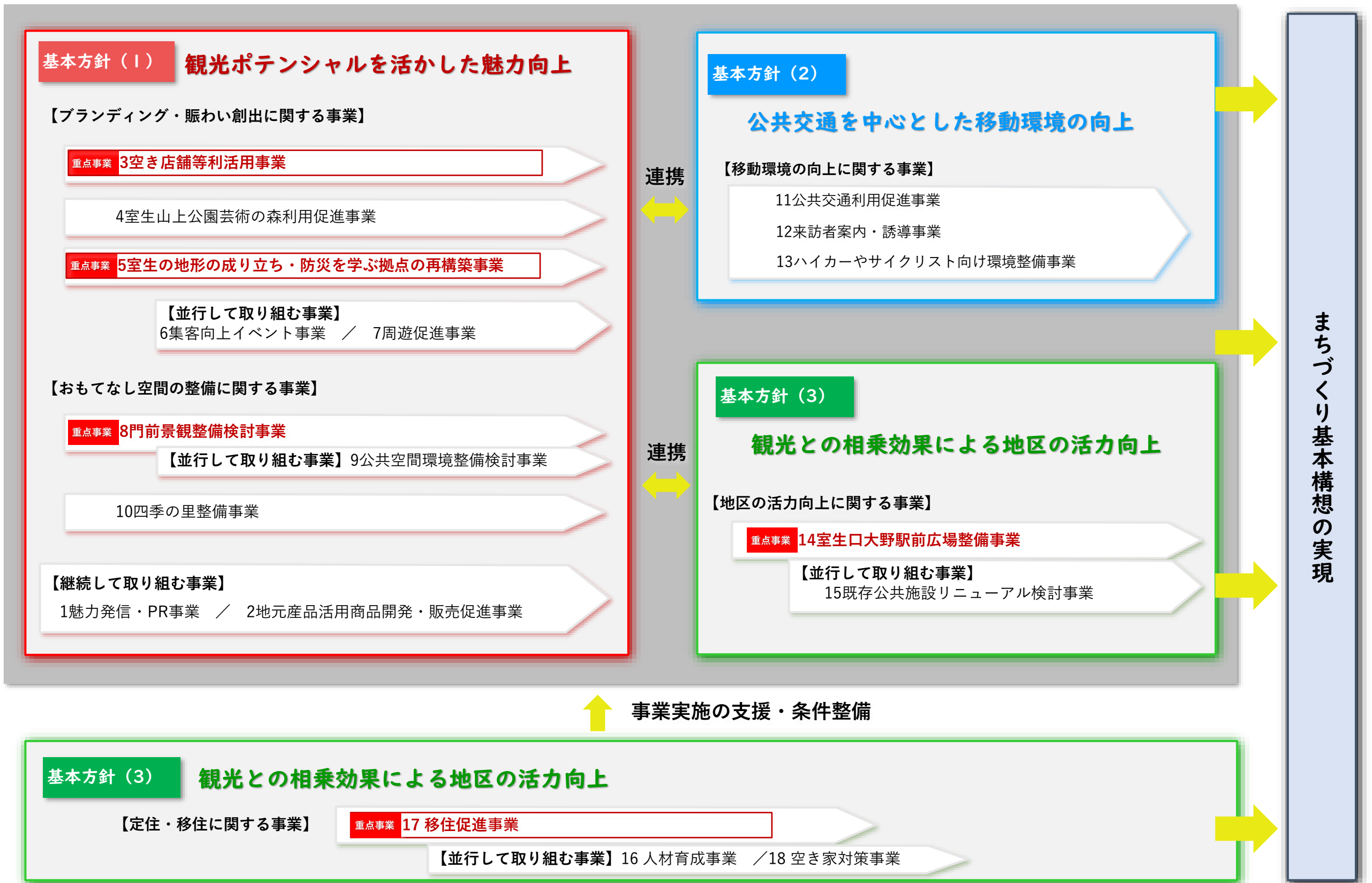
移動環境の向上に関する事業

- ・ 公共交通利用促進事業
- ・ 来訪者案内・誘導事業
- ・ ハイカーやサイクリスト向け環境整備事業

地区の活力向上に関する事業

- ・ 既存公共施設リニューアル検討事業
- ・ 人材育成事業
- ・ 空き家対策事業

室生寺門前および室生口大野駅周辺地区 事業推進に向けた取り組み



□ 囲みの事業は、短期的事業（5年以内に完了見込み）を示す。

1. 観光ポテンシャルを活かした魅力向上

取組中の関連事業・活動

基幹的事业

継続的事业

管理等付帯事業

施策展開の方針	番号	事業名称	事業主体	事業内容	ハード事業	ソフト事業	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度以降	事業手法等
(1) 室生地区、室生口大野地区のプランディング	1	魅力発信・PR事業	民間市	●地域の価値を高めるため、女人高野 室生寺とその門前及び山上公園の魅力発信・PRを行う。 ●室生寺とその西の大門である大野寺との関係性、龍穴神社と海神社との関係性等を意識した情報発信を行う。		○	情報発信戦略の検討、重点的な情報発信						
	2	地元産品活用商品開発・販売促進事業	民間市	●室生地区・室生口大野地区の「ブランド」に資するため、女性をターゲットとした商品など、地元産品を使用した新たな商品の開発、販売促進を行う。		○	新商品の開発調査、新商品の試行的販売・継続実施						
(2) 賑わいの創出	3	重点事業 空き店舗等利活用事業	民間市	●空き店舗等の利活用の促進 ・まちの賑わい創出のため、空き店舗等を活用した飲食店・物販店等を誘致する。 ・マルシェや実験店舗等のイベントを開催し、まちづくり機運の醸成、関係人口の創出・拡大を図る。		○	飲食店・物販店・宿泊施設等の誘致 マルシェ・実験店舗等イベントの開催 取組の継続						
	4	室生山上公園芸術の森利用促進事業	市	●室生山上公園芸術の森の利用促進 ・施設の積極的活用を図るため、民間と連携したサービスの提供等をおこなう。		○	施設の積極的活用、民間と連携したサービスの提供						
	5	重点事業 室生の地形の成り立ち・防災を学ぶ拠点の再構築事業	県市	●地域資源であるあさぎりホール・むろう地すべり見楽館の利用促進を図るとともに、室生公園あさぎりの里の階段等の老朽化対応を行う。		○	施設の利用促進 施設の老朽化対応修繕						
	6	集客向上イベント事業	市	●室生地区の集客の向上を図るため、地区内にある施設を利用したイベントを開催する。(アジサイ祭り、コンサート、イスラエル大使館との連携 等)		○	既存イベントの継続実施 新たなイベントの開催 新たなイベントの継続実施						
	7	周遊促進事業	市	●室生地区、室生口大野地区の周遊促進 広域的な周遊性を高めるため、室生口大野駅と室生寺を結ぶ周遊コースの設定、周遊マップの作成、イベントの開催 等を行う。 ●室生地区内の周遊促進 近隣の施設間における周遊性を高めるため、室生寺と山上公園の共通拝観・入場券導入を検討する。また、土産物事業者連携による割引制度の導入を実施する。		○	継続的な周遊促進 導入検討 取組の実施・継続						
(3) おもてなし空間の整備	8	重点事業 門前景観整備事業	市	●室生寺門前の建造物の修理・修景の支援 門前の景観を向上させるため、周辺の建造物の修理・修景の支援を行う。		○	整備計画の検討 修理・修景の実施						
	9	公共空間環境整備検討事業	県市	●室生寺門前にふさわしい道路整備の検討 門前の歩行空間を向上させるため、歩行者に配慮した空間確保や無電柱化などの実現可能性の検討を行う。		○	実現可能性の検討 検討結果に応じた整備						
	10	四季の里整備事業	民間	●四季を通じて魅力のある場所にするため、整備地を検討し、針葉樹から広葉樹や桜などの樹種に転換する。 ●里を俯瞰できる眺望ポイントを整備する。		○	整備地の検討 順次、整備						

2. 公共交通を中心とした移動環境の向上



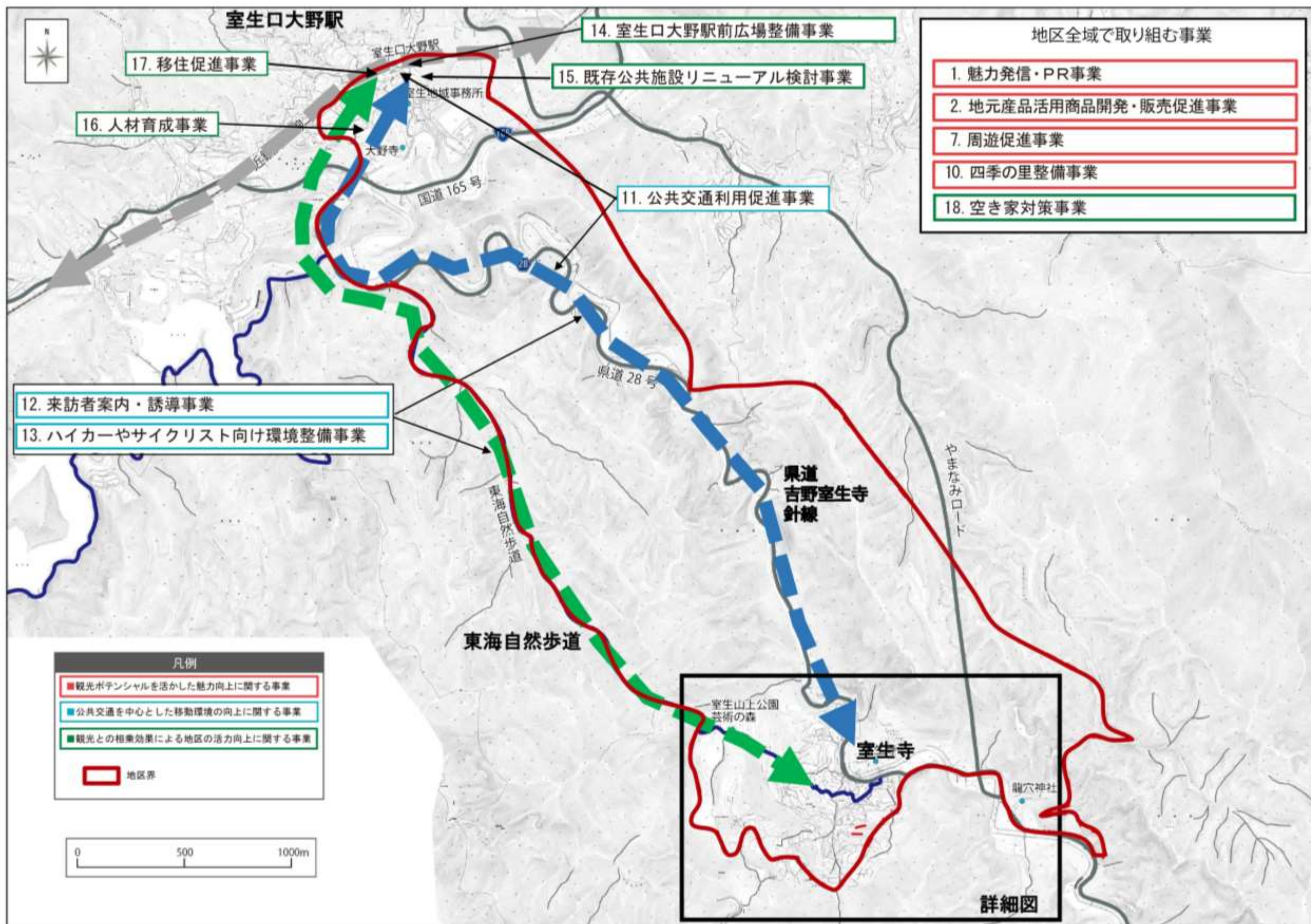
施策展開の方針	番号	事業名称	事業主体	事業内容	ハード事業	ソフト事業	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度以降	事業手法等
(1) 来訪者への案内強化	11	公共交通利用促進事業	市	●公共交通利用促進のPR 地域住民および来訪者への利便性向上のため、公共交通利用促進のためのPR活動を行う。		○	交通事業者との調整、継続的な情報発信						
	12	来訪者案内・誘導事業	市	●景観に配慮した案内誘導サインの整備 来訪者への誘導が円滑に行えるよう、案内誘導サインを設置する。	○					設置個所の抽出		案内誘導サインの整備	
(2) 移動環境の向上	13	ハイカーやサイクリスト向け環境整備事業	市	●東海自然歩道の整備 ハイカーやサイクリストへの便宜を図るため、トイレや休憩施設等の設置を検討する。	○		計画			設計・整備			
			市	●東海自然歩道の情報発信 より多くの来訪者を呼び込むため、東海自然歩道の魅力や情報を発信する。	○	継続的な情報発信							
	県・市	●サイクリストのための便宜性向上 自転車で訪れた人が安心して見学できるよう、駐輪スペースの確保やサイクリングルートの検討、サイクリングマップの利用促進を行う。	○	駐輪スペースの確保、サイクリングルートの検討 サイクリングマップの利用促進									

3. 観光との相乗効果による地区の活力向上

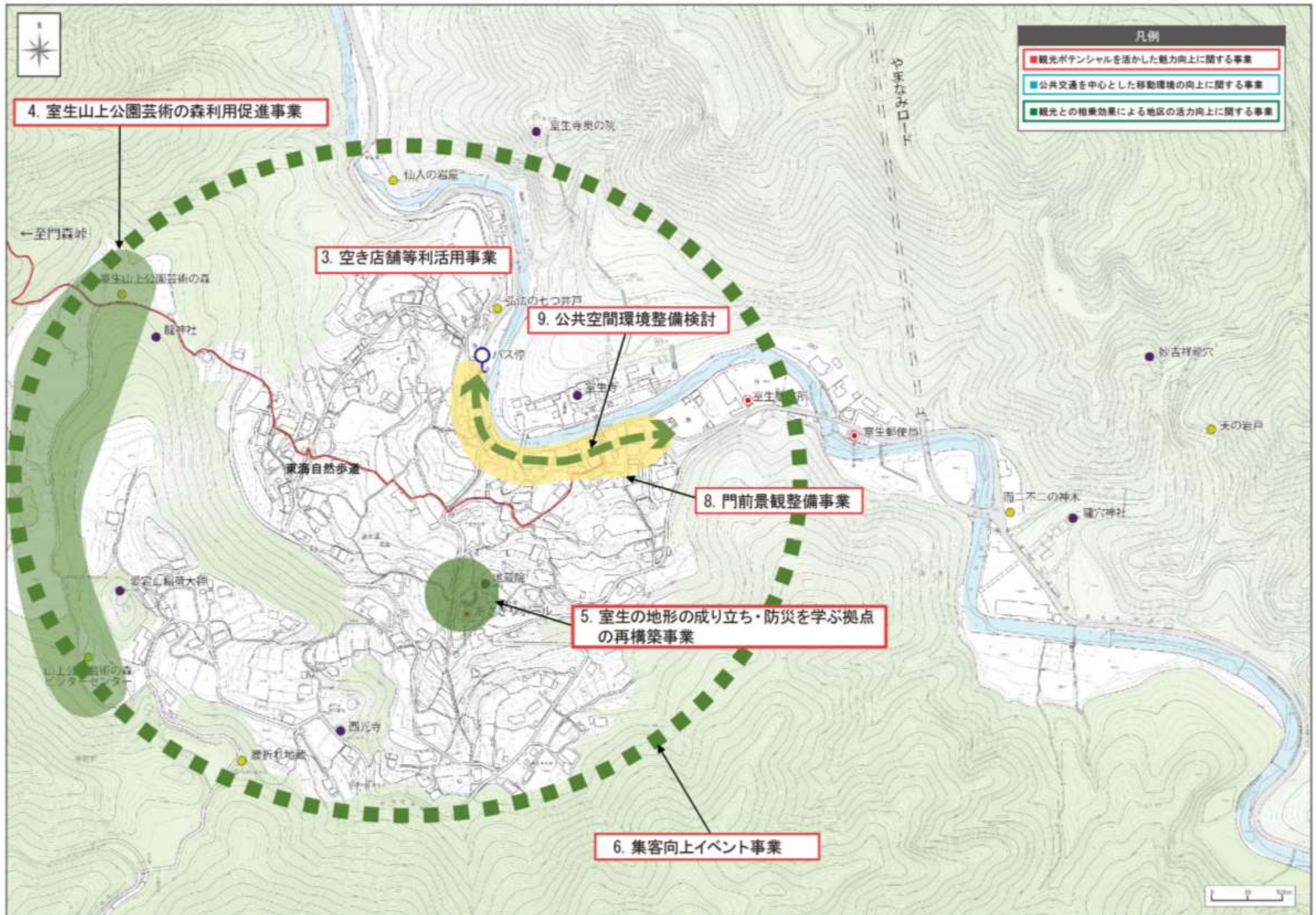


施策展開の方針	番号	事業名称	事業主体	事業内容	ハード事業	ソフト事業	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度以降	事業手法等
(1) 室生口大野駅のエントランス機能の向上	14	重点事業 室生口大野駅前広場整備事業	市	●室生口大野駅前広場整備の検討 エントランス機能向上のため、駅前広場の整備を検討し、計画・調査・設計と、広場の整備を行う。	○			整備の検討	計画	調査、設計		整備	
	15	既存公共施設リニューアル事業	市	●地域事務所・振興センターのリニューアルの検討 既存公共施設の老朽化に伴うリニューアルの検討を行い、検討結果に応じた整備を行う。	○				リニューアルの検討	基本計画	基本設計		検討結果に応じた整備
(2) 移住・定住の促進	16	人材育成事業	民間	●地域に根差した人材を育てるため、子どもたちの起業家教育を行い、実践の場として駅前でマルシェを実施するなど、新たな学びの機会を提供する。		○	子どもたちの起業家教育の実施						
	17	重点事業 移住促進事業	市	●移住・定住を促進するため、移住体験施設の活用を促進し、来訪者の受入や、移住相談等を実施する。	○	施設の運営・維持管理、移住相談等の実施							
	18	空き家対策事業	市	●移住・定住希望者の受け入れを促すため、既存空き家対策事業の拡大の検討、実施する。		○	既存空き家対策事業の拡大の検討・実施						

□基本計画図



□基本計画図（室生寺周辺詳細）



基本構想の目標に対する事業効果（KPI）

基本構想の目標に対する事業効果（KPI）に採用する指標・目標を以下の通り設定します。

重点整備事業のテーマ	対応する基本構想基本方針	関連する主な事業	指標	現況	目標 (令和9年度)
観光の振興	観光ポテンシャルを活かした魅力向上	1.魅力発信・PR事業	室生寺参拝者数	約85,000人/年	100,000人/年
		3.空き店舗等利活用事業 8.門前景観整備事業	空き店舗利活用数	0件	1件
		4.室生山上公園芸術の森利用促進事業 6.集客向上イベント事業 7.周遊促進事業	室生山上公園芸術の森入場者数	約27,000人/年	32,000人/年
生活の充実	観光との相乗効果による地区の活力向上	17.移住促進事業	移住者の数	0世帯	3世帯